



PLUS ULTRA

富キャン Express

Vol.25



~ The emblem of HAKUOH UNIVERSITY ~ 白鷗大学足利高校富田校舎広報

The checker means five continents, the stripe means three oceans, and they express the posture that we'll have a good look at the world widely.

教頭挨拶 10年ぶりの富田キャンパス



教頭 須藤 敏哉

皆さんこんにちは。今年度から教頭を務めることになりました、須藤です。富田キャンパス開学以来20数年間こちらで過ごしまして、本校舎に移りました。今回10年ぶりにまたこちらで仕事をすることになりました。10年ぶりに故郷の地に戻ったという気分ですが、生徒たちも富田校舎の教育活動も当時とは様変わりしており、心機一転新鮮な気持ちで取り組んでいるところです。ごつごつよろしくお願ひします。

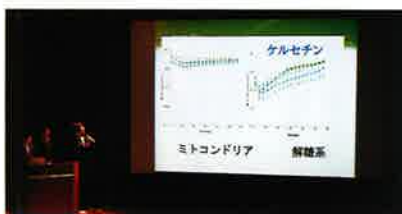
さて本校では、今年度の入学生から新しいコース体制になりました。富田キャンパスでは、特別進学コースと進学コースの2コースで、名称が少し変わったものの大きな変化はありませんが、本校舎では、普通・商業・総合選択の3つのコースの募集を停止し、総合進学コースを設けました。従来の文理進学コースと合わせて2コースの体制となつたわけですが、これは、学校をあげて進学指導体制の充実を図つ

ていくためのコース再編といえるでしょう。平成27年に、100周年を迎えた本校の、次の1000年に向けての新たなスタートです。富田キャンパスは、これまで本校の大学進学を中心に担い、地域から進学校として認知されていますが、これからは学校全体が進学へと舵を切りましたので、その中でどのような特色を出していけるかが問われることとなります。

ご存知の通り、3年後大学入試が大きく変わります。現行のセンター試験は2019年度(2020年1月の実施)を最後に廃止され、2020年度から「大学入学共通テスト」が実施されます。今年の新入生は、この「共通テスト」を受験することになります。この新テストの導入は、文部科学省の進める「高大接続改革」の一環です。これまでの日本の教育では、高校で学ぶこと、入試で求められること、大学に入ってから学ぶこと、そして、社会に出てから必要なこと「すれ」が生じていました。そこで、高校教育・入試・大学教育を体的に改革し、社会で自立的に活動していくために必要な「学力の3要素」を高校でバランスよく育み、大学入学者選抜では、その学力の3要素を多面的に評価し、大学で、高校までに培った力をさらに向上・発展させ社会に送り出す教育をするという流れをつくることを目指したのが「高大接続改革」です。高校で育成を目指す「学力の3要素」とは、①生きて働く知識・技能の習

得、②①を基にした思考力・判断力・表現力、③主体性を持つて多様な人々と協働して学ぶ態度の3つです。大学入試では、この3要素をいすれかに偏らず評価することが求められていますから、各大学は多様な選抜方法を実施してこるでしょう。「共通テスト」でも、記述式問題の導入や英語では4技能(読む・聞く・話す・書く)の評価、マークシート問題でも、複数の情報(文章・図・資料)を組み合わせて思考・判断させる問題や、解なしの選択肢を解答させる問題など作問や出題形式がこれまでとは大きく変わります。この「学力の3要素」をいかに育成していくかが、今後の高等学校の課題となります。

富田キャンパスでは、この「学力の3要素」の育成に向けて、大きく役立つ事業を展開してきました。平成25年度より5年間の指定を受けたスーパーサイエンスハイスクール(SSH)です。昨年2月の研究発表会をもって終了しましたが、発表会では、様々な課題研究が発表され、研究内容とともにプレゼンテーション能力の高まりを実感しました。「学力の3要素」の①知識・技能の習得はこれまで



SSH生徒研究発表会の様子

十分力を入れてきた分野ですが、②③については、①をどのように学ばか、学ばせていくか、これからの我々の課題になります。受動的なつめこみではなく、能動的な学びの場をつくり、思考力・判断力・表現力など多様な力を育まなくてはならないからです。SSHでは、地域の大学・企業等と連携し、多くの皆様からご指導ご支援をいただき、中学生たちは体験学習し、課題を見つけ研究し、発表をしました。SSHを通して、キャリア教育の充実が層図られ、自身の力で解決し生きていく力が大きく育成されたと思います。

今、高校と大学の教育は大きな改革期を迎えており、それは進学を目指す生徒たちにとって入試の変化という具体的な形で直面します。本校は「PLUS ULTRA(さらに向こう)のモットーの下、きめ細かな指導で生徒一人一人の個性に応じた伸長を図ることで評価をいただけてきました。これからの改革に応じた教育内容・指導方法の充実さらに努め、入試の変化に十分対応しうるカリキュラム・マネジメントを行っていきます。また、高校は学力のみでなく、社会の一員として必要な様々な事柄を学ぶ場でもあります。3年後、自分の進む進路に大きく飛び立つために、何事にも真摯に取り組み、自分の可能性を開花させ、十分に力を蓄える場所、富田キャンパスは生徒一人一人にとってそういう場所であらうと思います。

富田キャンパスへようこそ!

新入生の抱負

平成30年度入学式が4月7日に行われ、富田キャンパスでは166名の新入生を迎えました。特1の2川保美陽さん(白鷺足利中)が新入生代表として、誓いの言葉を述べました。新入生たちは、高校生活への期待と抱負を次のように述べています。



入学式の様子



進学コース
1年1組
切阪 僚太
(板倉中)

僕は、高校生になって頑張りたいことが3つあります。

1つ目は、勉強とピアノの両立です。音楽が好きで、将来は音楽関係の仕事に就きたいと考えています。一日一日を大切に、勉強とピアノとの両立に励みたいです。

2つ目は、地域のボランティア活動などに積極的に参加することです。今まであまり参加しなかったので、「ミニ拾い」などの活動にたくさん

参加していき、地域の人々との関わりを深くしたいと思います。

3つ目は、学校生活についてです。授業や行事を通じて学年や学級の仲間、先生方とコミュニケーションを取れば、豊かな人間性を高めることができると思います。

毎日の高校生活をより充実できるように、この3つを意識しながら頑張りたいと思います。



進学コース
1年2組
大野 花歩
(足利西中)

私は、自分の意思で本校に入學しました。本校で大学進学のために学力を向上させ、それに加え、部活動での活躍に励み、文武両道の実現を果たすことで、自分自身を高めたいと考えたからです。

現在、女子サッカー部に所属しており、すでに勉強と部活動との両立が大変だと思つことがしばしばあります。しかし、周囲の同級生や先輩方が頑張っている姿を見て、「私ももっと頑張ろう」と強く思うようになりました。

その具体的な方法を考えるにあたり、私は特に高校生活の3年間、「時間を有効に使う」ことを意識して生活していこうと思います。「文武両道」、先輩方がこれまでにやられてきたことが私にもできる

よう、一杯努力を積み重ね、実現できるように頑張ります。



進学コース
1年3組
但野 葵果
(小山城南中)

私が本校への入学を決めた理由は、自分に挑戦するためです。その意味は、いくつもあります。

まず、文武両道への挑戦です。私は富田キャンパスに通っています。本校舎で練習が行われる陸上部に入部しました。この選択をする人は少ないかもしれませんが、ですが私は勉強も部活動も疎かにせず、両立したいと思っています。

次に、逆境への挑戦です。部活動の忙しさに加え、通学時間も二時間以上かかります。勉強時間を確保するため、効率よく学習できる方法を見つけないです。

また、対面式で新入生代表として挨拶をしました。全校生徒の前で話すのは初めてでしたが、この経験はとても自信になりました。このように挑戦すれば得るものがあり、経験は生きます。高校生として多くの事に挑戦する3年間にしたいです。



進学コース
1年4組
持田 真衣
(多々良中)

大きな期待と不安を胸に、私はこの白鷺大学足利高等学校の門をくぐりました。そして高校生活

の目標を「魅力ある人間になること」と定めました。私はまだ将来の具体的な夢がありません。だから、この学校で様々なことを経験し、自分の視野を大きく広げていきたいです。そのためにも失敗を恐れず何事にも挑戦する姿勢が大切だと思えます。中学3年の時の担任の先生がくれた「その壁は次叩いたら破れるかもしれない」という言葉通り、これからの高校生活では様々な面で壁に出会うと思えますが、何度失敗しても、努力を重ねることが大切だと思います。「継続は力なり」を忘れずに自分の糧となるものを積極的に吸収していこうと思います。

また新しい環境に不安もありますが、目標に向かい努力を重ねつつ、友達と笑顔溢れる充実した毎日を送り、素晴らしい3年間だった、と心から言えるように頑張りたいです。



特別進学コース
1年1組
小松原 春花
(太田城東中)

高校に入学し、環境や学習内容は大きく変化しました。私はこの状況に早く慣れ、授業についていけるようにしたいです。また、予習と復習を欠かさず行い、知識を深めていきたいと思えます。自習室を効率よく利用し、疑問や不安な箇所を解消していきたいです。

学校行事や同好会活動にも積極的に取り組みたいです。合唱祭、体育祭、文化祭ではクラスで団結し、

夏の学習合宿では一日10時間の学習にも最後まで頑張りぬきたいです。同好会での活動では、学習と意識を切り換えて楽しく取り組みたいです。

これらのことを意識し、どんなことにも積極的に努力を惜しまず取り組み、充実した生活を過ごしていきたいです。



特別進学コース
1年2組
高田 啓生
(數塚本町中)

高校生になり、忙しい毎日追われながらも充実感を感じています。これから3年間、これ以上忙しい日々が続くかと思うと溜息がでますが、それと同時に胸が躍ります。そんな矛盾だらけの複雑な気持ちを結構楽しんでいきます。何故なら、それは新鮮な毎日を送っている証拠だと思つからです。私はこの気持ちを忘れずに生活するために、3つの方針を立てました。

1つ目は無理をしない事です。これは、いい加減に行動するといふことではなく、無理をしなくても良い状況を日頃から作っておくといふことです。

2つ目は、生活にメリハリをつけることです。状況に応じた行動を取れるようになるたいです。

3つ目は、何ごとにも挑戦して行くことです。挑戦しない人生はつまらないと思えます。様々なことにチャレンジして、人間として大きく成長出来るように頑張りたいと思います。

新入生歓迎球技大会 新競技サッカー・バドミントン

今年も恒例の新入生歓迎球技大会が5月29日に富田校舎グラウンドで行われました。今年も例年と比べ大きな変更点がありました。それは新競技としてサッカーとバドミントンが加わったことです。生徒会は全生徒の声を去年の段階からアンケートとして集めました。毎年、球技大会の前後で生徒の間で出る意見を今年に取り入れようと考えたことがきっかけでした。二度に渡るアンケートにより、最終的にはサッカーとバドミントンが加わるという結果になりました。人気があつて採用された競技だけあつて出場クラスは多く、バドミントンについて言えば17クラス出場という賑わいを見せました。結果は、上級生の實力を見せつけた3年生がサッカーを除く4競技で優勝。サッカーは進学コース2年2組が健闘し、優勝候補と言われた進学コース3年4組を破り優勝しました。1年生も、新競技のバドミントンで特進コース1年1組が準優勝、ソフトテニスで進学コース1年3組が準優勝と健闘を見せ、来年以降の活躍が期待できる結果となりました。

平成30年度 新入生歓迎球技大会(富田校舎)結果

	優勝	準優勝	第3位
ソフトボール	P3-3	P2-3	P3-4
サッカー	P2-2	P3-4	P3-3
バレーボール	P3-2	P2-4	TS3-2
バドミントン	P3-2	T1-1	TS3-2 TH3-1
ソフトテニス	TS3-2	P1-3	P2-1



ソフトボールの様子



バレーボールの様子

暑い一日となりましたが、熱中症で倒れる生徒もなく、充実した楽しい球技大会でした。

新任職員紹介



柳沼 倫明 先生
(国語)

今年度から国語を担当している柳沼倫明(やぎぬまみちあき)です。昨年度までは、公立高校で教鞭を執っていました。この春からは本校でお世話になっていきます。教員となつて以来、ほぼすべての期間を進学校で進路指導に携わってきました。教員生活を再スタートするにあたり、この富田キャンパスで優れた生徒の皆さんを指導する機会を与えていただいたことに感謝しつつ、充実した日々を過ごしたいと考えています。

私の教員としての経験から二つ言えることは、学力とは、継続する力だということです。他者から与えられたことだけを勉強するのはなく、自分でやるべきことを考え、計画を立てたなら、最後までやり抜く力、それが学力です。生徒の皆さんも、是非そのような学力を身につけてください。



小林 由枝 先生
(保健体育)

本校舎、中学校と異動し今年度

富田校舎に赴任しました小林由枝(こばやしゆし)です。担当は保健体育科です。

富田校舎の皆さんの第一印象は、とても明るく、さわやかで一生懸命でした。その印象は今も変わっていません。先日行われた新入生歓迎球技大会では、各競技とも白熱した対戦が繰り広げられ、また、一生懸命に仲間を応援する光景がみられて、とてもすがすがしい日でした。

大学進学を目標に日々勉強に頑張っている皆さんですが、目標達成のためには「体力・気力」を養うことも大切です。体育の授業では、たくさん体を動かしてください。そして、少しずつ体力をつけ協調性を学び、何事も前向きに考えられるようになってもらえたらいいなあと考えます。

夢の実現に向かって応援します。



松本 愛梨 先生
(養護)

今年1月から新しく養護教諭となりました松本愛梨(まつもとあいら)です。以前は群馬県内の小学校に勤務をしていました。私は、本校の中等部、富田校舎の卒業生です。この学校で多くのことを学び、充実した学校生活を過ごしました。このついで、母校に戻り、みなさんに出会えたことを大変嬉しく思っています。

さて、みなさんは「保健室」とい

うと、どんなイメージを持っているでしょうか。「保健室」は、けがをした時、体調が悪い時に入室する場所であることはもちろんですが、自分の体や健康について知りたい時、また悩みや相談がある時なども安心して入室して下さい。皆さんが将来に向けて、自分自身で健康を管理していけるように、サポートをしていきたいと思っております。よろしくお願ひします。



大阿久 藍 先生
(数学)

今年度から数学を担当している大阿久藍(おおあくあい)です。今年が教員1年目です。3月までは、筑波大学で確率論を専攻していました。その中で数学の専門性を磨き、数学への理解を深めてきました。

ところで、みなさんは数学という教科は好きですか。または、好きでしたか。好き嫌いの分かれやすい教科ではありますが、数学にはたくさん魅力があると、私は思っています。例えば、数学の魅力のひとつとして、「物事を筋道立てて考えることの楽しさ」が挙げられます。このような数学の楽しさを、授業を通してみなさんに伝えていけたらと考えています。

これから授業をきっかけにして、数学って楽しいな、面白いな、と思ってもらえるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひ致します。

平成30年度 富田校舎 主な大学合格実績

国立大学 43名合格

秋田大学(医・医) 1名

北海道大学 1名

筑波大学 1名

千葉大学 1名

埼玉大学 1名

茨城大学 4名

宇都宮大学 2名

群馬大学 11名

新潟大学 2名

富山大学 1名

信州大学 1名

都留文科大 1名

高崎経済大 5名

群馬県立県民健康科学大 1名

静岡文化芸術大 1名

他9名

早稲田大学 2名

上智大学 2名

東京理科大学 2名

明治大学 2名

青山学院大学 2名

立教大学 4名

中央大学 7名

法政大学 2名

獨協医科大学(医・医) 1名

津田塾大学 1名

日本赤十字看護大 1名

自治医科大学 1名

東京薬科大 1名

成城大学 2名

成蹊大学 4名

明治学院大学 4名

獨協大学 4名

國學院大学 1名

芝浦工業大 5名

東洋大学 9名

日本大学 1名

駒澤大学 2名

専修大学 1名

学習院女子大 1名

私立大学 293名合格

白鷗大学 129名

慶應義塾大 1名

他101名

卒業生からの声



特別選抜コース 3年2組卒 葛貫 桃子さん (田沼東中)

北海道大学総合理系合格

3年間を振り返ると、体育祭、Can祭、修学旅行など色々な思い出がありますが、私は毎日のありふれた学校生活が一番思い出に残っています。いつも通り友達と登校し、授業を受け、休み時間には友達とおしゃべりをし、放課後は自習室で勉強するといった毎日が何よりもかけがえのないものだったと感じています。

私は受験というものを少し難しく考えてしまっていた部分もありましたが、最後まで諦めず、自分を信じて淡々と勉強できる人が合格をつかむことができるということを実感しました。



進学コース 3年4組卒 高橋 あまねさん (桐生清流中)

茨城大学教育学部養護教諭養成課程合格

私は友人に恵まれ、充実した高校生活を送ることができました。テストが多く忙しいと思つこともありましたが、しかし私を励ましてくれた友人と切磋琢磨することで、

頑張ることができました。

勉強面では、英語の成績が振るいませんでしたが、音読を繰り返して行うことで、成績を伸ばすことができました。また、定期試験や模擬試験の勉強に追われ、大変な時期もありましたが、試験を大切に、頑張ったことでチャンスを広げることができたと思います。

富田キャンパスだからこそ、個性あふれる仲間達や先生方と一緒に頑張ることができたと思います。本当に感謝しています。ありがとうございました。



進学コース 3年2組卒 貴希さん (山辺中)

高崎経済大学地域政策学部合格

私は3年間男子ソフトボール部に所属し、主将を務め、全国大会に3度出場を果たすことができました。部活動だけではなく、勉強にも一生懸命に取り組み、文武両道に努めました。高校3年間を通して、学習面でも運動面でも友人達と競い合い、お互いに高め合つことができたことは、本当に貴重な経験だったと思います。

また、目標を達成するためには、家族、友人、先生を始め、私に関わってくれた全ての人の支えが必要だということを感じました。そして、様々な意見を聞き、その中から自分で考え行動していくことが成功への近道であると学びました。富田キャンパスで出会い、関わってくれた全ての人に感謝しています。

新生徒会紹介

昨年10月の新生徒会役員選挙において副会長・会計・議長・副議長が選出され、その後の認証式で、左記の12名の生徒が生徒会役員として認証されました。任期は一年間です。それぞれが生徒会役員として高い理想をもち、生徒会活動に取り組んでいます。新入生歓迎球技大会では、全校アンケートをとり、競技の見直しをしました。また、生徒会の活動を知ってもらおうと生徒会新聞を発行しました。富キャン生がよりよい高校生活を送れるよう、努力していきますので応援よろしくお願いします。

- 副会長 特選3-1 秋山 柊太
- 会計 進学3-1 根本美登里
- 議長 進学3-4 松倉 一生
- 副議長 進学3-4 村本 翔英
- 書記 特選2-1 笹川 優奈
- 会計監査 中高3-1 遠藤 大輔
- 会計監査 中高3-1 久保守 慧
- 会計監査 特選3-1 若林 万葉
- 会計監査 進学2-1 2 多田 茉優
- 会計監査 進学2-1 4 下山 純凜
- 会計監査 進学2-1 3 渡邊 旭
- 会計監査 進学2-1 4 東 優希

富キャンExpress vol.25題字の右側のカモメのロゴは富田キャンパス文芸イラスト同好会の生徒の作品です。お忙しい中、原稿と写真等の協力ありがとうございました。